

**【河川教育】 2**

石狩川振興財団では関係機関・市民団体等の支援として石狩川の水害や治水の歴史、水利用、流域の風土、水文化、防災、河川環境及び川の安全利用などをテーマに学習活動を実践しています。



実践拠点「滝川地区地域防災施設」

**『みんとち自然体験楽校』 開催日：平成 26年8月 2日(土)～8月 3日(日)**

**【活動の概要】**

滝川市の「まち・川づくりサポートセンター」が実施する「みんとちの大冒険」を支援するとともに、防災に関する紙芝居を行いました。

子供達が体験した内容は以下の通りです。

- ・水生生物調査を行い、川の汚れや川を中心とする自然環境を学習する
- ・自然の中で安全にEボートや川流れ体験を楽しむ
- ・友達とコミュニケーションを取りながら活動する
- ・子供達だけで段ボールで間仕切りを組み立て、一夜を過ごす防災キャンプ（疑似避難体験）を通して、防災意識を持つ

**【主 催】**

滝川市「まち・川づくりサポートセンター」

**【参加対象者】**

滝川市内小学生

**【参加人数】**

児童 12 名

**【日 時】**

平成 26 年 8 月 2 日（土）～8 月 3 日（日）

**【場 所】**

石狩川、滝川地区地域防災施設

**【アンケート結果】**

1. 今までに、今回のようなキャンプをしたことがありますか。

ない	11
ある（回数）	1（2回目）

2. 今回のキャンプで困ったことがあれば書いてください。

困ったことはない	7
困ったことがある	5
食事	0
水	2
電気	1
トイレ	2
寝るところ	2
その他	1（川に行くとき）

- 水は持ち運びが不便。トイレは（階段を）上へ下へと行きつかれた。段ボールがかたかった。
- 夜、トイレに行くとき電気がないと階段を上がったり下りたりする時、段差があるかどうか分からない。
- ペットボトルの水を使うので、すぐなくなりそうで困った。
- （寝床を）段ボールで組み立てるところが困りました。
- 川に行くとき、バスが少し道に迷ったから困った。

**3. もしもの災害にそなえて、家でどんな準備をしたらよいと思いますか。（自由回答）**

- すぐ逃げる準備をする。
- 水、ラジオ、非常食、寝袋、ゲーム、ライト、ガスコンロ、鍋、紙皿、紙コップ。
- ラジオと非常食を用意しておく。
- 乾パンなどの非常食を用意して、心構えをしておく。
- 事前に、食料など必要なものを準備しておく。
- 食べ物などの準備。
- 水、食料、段ボール、寝袋、ゲーム、本、ラジオ、ライト、ガスコンロ、ガスボンベ、なべ、紙皿、紙コップ。
- 非常食を置いておく。気がついたら安全な場所に逃げる。
- 水や食料をまとめて置いておく。
- ペットボトルの水や寝袋、缶詰などを用意しておけばいい。特に、通帳などが必要だと思う。

**4. 今回のキャンプの感想を書いてください。（自由回答）**

- 川の水にのって流れるのが楽しかったです。（寒かったけれど）
- 夜ご飯がかたかった。
- カップ流れが楽しかった。
- 楽しかった。特に、川流れが楽しかった。
- 川流れがおもしろかった。また寝床を作りたい。
- 魚とりや浮遊体験（川流れのこと）など楽しいことがいろいろあっておもしろかった。
- 面白かった。カレーライスがからかった。
- 川流れが楽しかった。
- 食事がうまかった。
- 段ボールを使って友達と一緒に寝床を作ったのが楽しかったです。
- 川で知らない虫を見つけたのが楽しかった。川流れはもっと長い距離を下ってみたい。
- 洪水になったらどこに逃げればいいのかなどのことがたくさんわかった。



炊飯袋にお米と水を入れて温めるとご飯のできあがり



自分で組み立てた段ボールがベッド



自分たちが作った寝床で一晩過ごせるかな？



外で食べる非常食最高!!!



晩御飯はみんなで作ったカレーライス。美味しかった



紙芝居で防災について学ぶ